

1. ことばの多様性

1 世界の言語と日本語 1/6,000の日本語

世界にはおよそ6,000の言語があるとされています。日本語や英語もその中のひとつです。つまり、日本語も英語も、地球上ではそれぞれ6,000分の1という存在です。

日本の社会ではおもに日本語が使われています。また、日本語が日常生活の言語として使われている国は地球上で日本だけです。このように日本語は、ひとつの言語がひとつの国とほぼ対応している言語ですが、世界では日本語のような言語はあまり多くありません。英語はイギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドなどの国々で日常の言語として使われています。



イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド...

英語

アラビア語もアジア、アフリカの多くの国々で話されています。フランス語はヨーロッパだけでなくアフリカの多くの国々で使われ、またスペイン語も中央アメリカや南アメリカを中心に、世界の多くの国々で話されています。

アラブ首長国連邦、アルジェリア、イエメン共和国、イラク、エジプト、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、スーダン、ソマリア、チャド、チュニジア、バーレーン、モロッコ、リビア、レバノン...

アラビア語

英語やアラビア語などとは逆に、ひとつの国の中で複数の言語が用いられている場合も珍しくありません。たとえばインドでは、ヒンディー語、タミル語、マラティ語など、多くの言語が話されています。同じ国の中で、地域によって話されている言語が違うのです。

インド

言語：ヒンディー語、ウルドゥー語、ベンガル語、パンジャブ語、アッサム語、タミル語、マラティ語、テルグ語、マラヤーラム語、カンナダ語...

では、世界で一番よく話されている言語は何語でしょう？ 赤ちゃんのときに耳にして自然に身につけた言語を母語と言いますが、母語話者（その言語を自分の母語として話す人）の数を基準にすると、次のような統計が得られます*。ジャバ語はインドネシアやマレーシアなどで使われている言語、また**の印がついた言語はインドとその周辺地域で話されている言語です。

1. 中国語	1,000 (×百万)	11. フランス語	70
2. 英語	350	12. パンジャブ語**	70
3. スペイン語	250	13. ジャバ語	65
4. ヒンディー語**	200	14. ビハール語**	65
5. アラビア	150	15. イタリア語	60
6. ベンガル語**	150	16. 韓国語	60
7. ロシア語	150	17. テルグ語**	55
8. ポルトガル語	135	18. タミル語**	55
9. 日本語	120	19. マラティ語**	50
10. ドイツ語	100	20. ベトナム語	50

世界で一番母語話者が多いのは中国語の10億人です。日本語は1億2千万人で、6,000の言語の中で9番目に入ります。世界の人口は約66億人ですから、6,000の中のトップ20の言語で世界の人口の約半分を占めていることがわかります。このうち、国際連合（国連）の公用語は、英語（母語話者数第2位）、フランス語（第11位）、中国語（第1位）、ロシア語（第7位）、スペイン語（第3位）、アラビア語（第5位）の6言語です。

クイズ

言語が違えば実際に使われる言葉も違います。たとえば同じ「こんにちは」というあいさつ言葉でも、6,000の言語があれば、6,000通りの言い方があるわけです。次の言葉はどの言語の「こんにちは」でしょう？

ハロー、ニーハオ、ジャンボ、ボンジュール、アッサラーム、グーテンターク、アンニョンハセヨ

ヒント：韓国語、中国語、アラビア語、スワヒリ語、ドイツ語、フランス語、英語

調べおぼろ

スペイン語やフランス語がどの国で話されているか調べてみましょう。

ヒント：スペイン語は南アメリカ、中央アメリカの国々で、フランス語はアフリカの国々で話されています。

* 出典：Comrie, B., Matthews, S. and Polinsky, M. (1996) *The Atlas of Languages*. New York: Facts on File, Inc. なお、母語話者の数字については文献によって順位や数値が多少異なる。